

1. 平成26年度に目指すこと

わたしたちが住んでいる地域の子どもたちを育む環境創りをめざす

26年度のテーマ

「すべての子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を」

NPO法人萩子どもセンターが発足し、今年は15年目を迎えます。これまで常に子どもの目線で、よりよい環境の中でのびのび育ち、また人として子どもの豊かな成長に寄与することを願って活動を続けてきました。「子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を」は、1977年に子どもセンターの前身である萩おやこ劇場が誕生したときのスローガンです。萩おやこ劇場では、この思いのもと生の舞台を鑑賞することと、キャンプやまつりなどの自主活動を中心にして活動してきました。

今年度は、これまでの歴史を振り返り、行ってきた活動の意味をみつめながら、原点に立ち返り、これまでの経験をいかして萩子どもセンターだからこそできることに取り組んでまいりました。

(1) 15周年の節目にあたり記念事業を行っていきます。

これまで舞台鑑賞は、子どもセンターの大きな活動の柱でした。しかし、最近生の舞台を子どもたちに届ける機会が少なくなってきました。メディアで溢れる今だからこそ、子どもたちが生の舞台、文化に触れる機会をつくり、感動を共有することが大切です。今年度は、15周年を記念して大型舞台作品ピノキオを企画し、鑑賞された皆様方に感動を与え大盛況のうちに終わることができました。ただ反省点として、このピノキオ公演の事前に行ったワークショップは、呼びかけ不足のため参加者が少なく、もっと多くの方に参加していただければよかったです。また、15周年のまとめとして15周年記念パンフレットを発行し、併せておもちつき大会も行いました。

(2) 委託事業である児童館の活動を充実させ、「萩わんぱーく」を支える仲間を増やしていきましょう。

平成23年(2011年)3月21日に児童館が開館して、早いもので4年目になります。そして、平成25年(2013年)3月10日に山口県初のプレーパークである「萩わんぱーく」が開園して、2年目になります。これまでに児童館には来館者225,000人、利用者200,000人と多くの方にお越しいただきました。また、児童館とプレーパークが隣接しているところは少なく、子どもにとっても室内、外と自由に遊ぶことは、大きな魅力です。また、民官協働で運営し、プレーリーダーの雇用があることは、全国的にも価値あることです。子どもたちが主体性を持って、やりたい遊びができるように環境を整え、子どもたちといっしょに活動して大人も笑顔になれるような居場所として活動してまいりました。プレーパークは、これまで22,000人以上、1年平均1万人以上の方が利用されています。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもたちを中心に地域のコミュニティーの形成をめざし活動を行ってまいりました。今年3月末をもってプレーリーダーの前任者が引退され、4月から新任のプレーリーダーになりましたが、移行がもっとスムーズにいけばよかったと反省もあります。

(3) さまざまな体験活動を通して、子どもたちが自ら考える力、判断する力、行動する力を育み、大人も互いに協力しあっていきましょう。

子どもたちが本来持っている、創造力、発想力、生命力を信じて、活動のひとつひとつが有意義な体験、経験となるよう地域と連携をとりながら進めることができました。今後の課題として、協力会員の増強、目的意識をもって行事へ参加協力していただけるよう努力していくべきだと感じました。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数
舞台鑑賞事業	<p>舞台鑑賞</p> <p>生の舞台を体験することにより、感性を揺さぶり心を育てることを目的とし、プロの創造団体による公演の企画、実施。</p> <p>・ピノキオ（劇団むすび座） 15周年記念事業として10月に実行委員会を立ち上げ、久しぶりに大型作品に取り組んだ。ストーリーの面白さ、見事な人形遣い、客席を巻き込んでいく演出に大人も子どもハラハラドキドキしながら舞台に見入っていた。多くの人から感動したという声を聞き、特に幼児が最後まで真剣に見ている姿にあらためて生の舞台の持つ力、鑑賞活動の意義を実感した。</p> <p>・事前学習会 ピノキオ公演に向けて劇団むすび座より演出家の大野正雄さんを招いて事前学習会を行った。作品への思いを聞いたり、ピノキオの人形を操ったりすることができ公演に対する関心が深まった。とても充実した学習会だったが、呼びかけ不足のため参加者が少なかったことが悔やまれる。</p>	<p>3月28日（土） 18：30～20：30</p> <p>1月22日（木）</p>	<p>萩市民館 大ホール</p> <p>児童館</p>	<p>447人 (大人215 子ども232)</p> <p>17人</p>
	<p>ミニキャンプ</p> <p>子どもを対象にデイキャンプを企画、実施。ゲームや野外炊飯をして、他の地域の子どもたちと交流をはかる。</p> <p>今年度事業計画を立てようとしたが、プレーパーク内で何かできないかという意見が出たため、予定を「青空市場」に変更した。</p>	<p>9月13日（土） 13:00～15:00</p>	<p>萩わんぱーく</p>	<p>6店舗13人 当日来場者 95人</p>
子どもの諸活動支援事業	<p>ストリートダンス</p> <p>子どもたちの創造表現活動、児童館を使用した練習や、地域での発表の場を企画、実施。また、子どもの居場所としてのストリートダンスを企画、実施。</p> <p>4月 6日 花まつり 4月27日 はぎキッズパーク2014 7月26日 かわかみ苑まつり 8月 3日 萩夏まつり 15周年記念おやじダンス開催 10月25日 結まつり 11月 8日 萩ふるさとまつり</p>	<p>毎週月曜日 (祝祭日休み) 18：45～20：30</p>	<p>児童館 体力増進室</p>	<p>年間延べ 598人</p> <p>ステージ回数6回 延べ108人</p> <p>おやじダンス参加者 8人</p>

	<p>はぎキッズパーク2014</p> <p>子どもたちが、心を開放して心身ともに遊びきる企画を実施。高校生、至誠館大学ボランティアを育成し、異年齢の遊びを発展させる。</p> <p>今年は「世界の遊び」をテーマに日本独楽博物館の方々を招き、ステージショーの他、室内外を問わず様々な遊びを行った。最後には民族衣装を着て、希望した子どもたちでファッションショーを行うなど、大いに楽しんでもらった。</p> <p>開催にあたり、多くのボランティアスタッフに協力をいただいたが、子どもたちが興味のある部署につけるよう次回は配慮して取り組みたい。また、当日の天候は晴れてはいたが、風が強く砂嵐が出来るほどだった。急な事態にも対処できるよう、事前に想定しておくべきだった。</p>	<p>4月27日(日) 10:00~15:00</p>	<p>児童館 菘わんぱーく</p>	<p>850人 630人</p>
子育て支援事業	<p>ママ・パパチャレンジ!!</p> <p>・児童館のピヨピヨを支援。ママスタッフが2名増え、親の事業への参画が進んでいます。</p> <p>・冒険遊び場づくり協会の天野秀昭氏を招き、主に未就園児の保護者を対象として、外遊びの大切さをお話していただいた。事前に周知はしていたが、当日参加された方が少なかったことが残念だった。</p> <p>・木工クラフトであそぼ!</p> <p>長門市から深田夫妻を木工の先生として招き、15周年記念事業に合わせ実施。パパやママ、ALTの先生も夢中になって、子どもたちと一緒にデザインを考えて制作していた。もちまきと同じ時間だったので、調整すればよかった。</p>	<p>11月30日(日)</p> <p>1月18日(日) 10:00~15:00</p>	<p>菘わんぱーく</p> <p>菘わんぱーく</p>	<p>15人</p> <p>60人</p>
子どもと文化に関する活動支援事業	<p>おはなしやまんば(お話の会)</p> <p>昔話や童話の世界を語ることによって、大人から子どもに本の世界を伝える。</p> <p>・大人のためのおはなし会 これまで回を重ねてきた事で、“お話を聞く”という場が周知されてきたようです。</p> <p>・おはなしとこうさくの会 親子でお話を聞いたことを喜んでくださり、「またしてほしい」「またやってほしい」という声をいただいた。</p>	<p>毎月1回不定期 10:00~12:00</p> <p>7月20日(日) 13:30~15:00</p> <p>1月31日(土) 13:30~15:00</p>	<p>市民活動センター結</p> <p>図書館2階 研修室</p> <p>図書館2階 研修室</p>	<p>延べ26人</p> <p>14人 話し手5人</p> <p>27人 話し手3人</p>

	<p>研修会・講演会・交流会 セミナー参加や地域の交流等、活動支援や全会員を視野に入れた交流親睦を企画実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレーパーク研修会 講師 日本冒険遊び場協会 天野秀昭氏 「危険とつきあう力を育てる公園活性化の市民のあり方」という演題で、プレーパーク部会のメンバーと天野さんが今後の萩市プレーパークの目指す姿を話し合った。児童館とプレーパークが隣接し、しかも同じ組織に運営されているところは全国でも萩にしかなく、天野さんも注目していると述べられた。プレーパーク部会のメンバーだけでなく、講演会や座談会などの形式として、一般の方にも聞けるよう事業立てを行えばよかった。 ・15周年記念交流会の開催 もちつき、木エクラフト、記念植樹を実施。 記念植樹ではモミの木を1本、リーダーハウス側に植樹した。萩わんぱーくに来ている子どもたちにも準備を手伝ってもらい、当日の子どもたちも大いに楽しんだ様子だった。今後も、会員の交流を行える企画が継続的に必要だと感じた。 ・各種NPO研修会・セミナーへの積極的参加 市民活動交流会へ参加 ・協力会員の事業参画促進 はぎキッズパークなどの事業へ、スタッフとしての協力を呼び掛けたが、萩子どもセンターの協力会員として役割を正確に答えられる会員がどれだけいるのか、課題が残る。 	<p>11月29日(土) 18:00~19:30</p> <p>1月18日(日)</p> <p>2月12日(木)</p>	<p>児童館</p> <p>萩わんぱーく</p> <p>結</p>	<p>10人</p> <p>60人</p> <p>子どもセンターから 4人参加</p>
<p>子どもと文化に関する活動広報事業</p>	<p>子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動 チラシ、パンフレットの作成。ニュースなどで広報、啓発。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこニュース発行 年間の5回で、萩子どもセンターの過去15年を振り返る内容を盛り込んだ。また、記念事業の人形劇「ピノキオ」の公演に向けて特集記事を組み、会員の皆さんへのお知らせを行った。 ・15周年記念パンフレット制作 ピノキオ舞台公演の際に、萩子どもセンター15周年記念パンフレットを作り、来場者へ配布を行った。 	<p>5月、7月、9月、 12月、2月</p> <p>3月</p>		<p>年5回 延べ500部</p> <p>1,000部</p>

その他	他団体との協力 <ul style="list-style-type: none"> ・花まつり ・かわかみ苑まつり ・萩夏まつり ・萩わんぱく広場 ・結まつり ・萩ふるさとまつり ・市民活動交流会 	4月 6日 (日) 7月26日 (土) 8月 3日 (日) 10月19日 (日) 10月25日 (土) 11月 8日 (土) 2月12日 (木)	市民館 かわかみ苑 商工会議所前 児童館、萩わ んぱーく JOY201 中央公園 結	
	松元ヒロソロライブ (実行委員会) 今年是个別の実行委員会を立ち上げ、主催という立場ではないが、子どもセンターも関わっていくというスタンスで実施された。 特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 団体会員として入会した。	6月21日 (土) 19:00~20:15	サンライフ萩	147人

(2) 会議等の開催報告

会議名	会議内容	開催日時	開催場所	参加人数
総会	萩子どもセンターの事業、会計、役員、会費その他運営に関する重要な事項である議題を審議する。正会員の過半数をもって議決し、萩子どもセンターの会としての方針を決定する。	6月7日	児童館	15人
理事会	萩子どもセンターの組織運営について理事会において協議し、総会の開催、総会の議決事項の執行、事務局の運営など会務の円滑な運営を目指した。	5月23日 6月7日、30日 3月30日	児童館	延べ 15人
常任委員会	萩子どもセンターの事業について定期的に会合を行い、進捗状況のチェックや改善点の指摘、円滑な各事業の運営を目指した。	4月7日、14日、5月9日、12日 6月2日、23日、7月7日 8月25日、9月15日 10月20日、11月10日 12月8日、1月5日 2月2日、23日、3月23日	児童館	延べ 92人